

平成 2 1 年度

## 旭小学校支援地域本部事業アンケート調査

(集計、まとめ、次年度へ反映)

このアンケート調査は、旭小学校支援地域本部事業を円滑に運営するために、学校組織マネジメント（P D C A サイクル）を活用して、本年度の旭小学校支援地域本部事業の計画（P l a n）や活動（D o）について、適正な評価（C h e c k）を行い、次年度に反映（A c t i o n）しようとするものです。

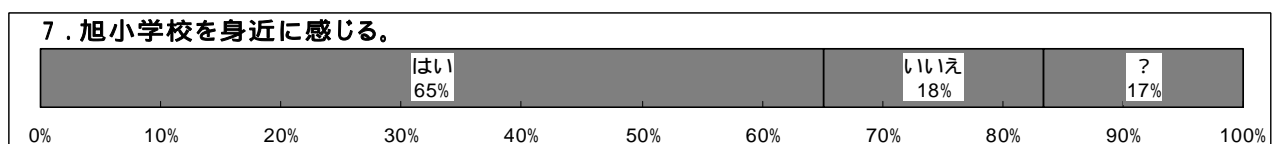
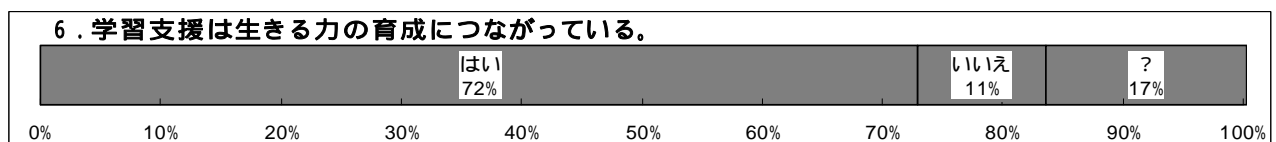
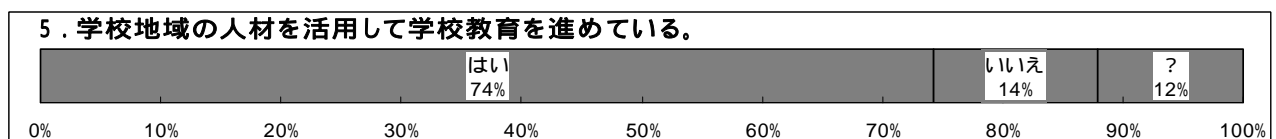
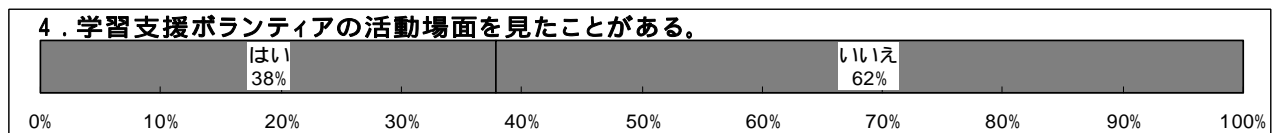
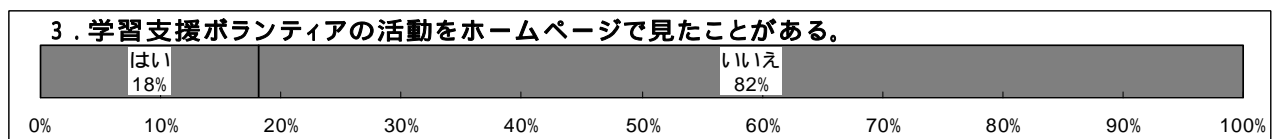
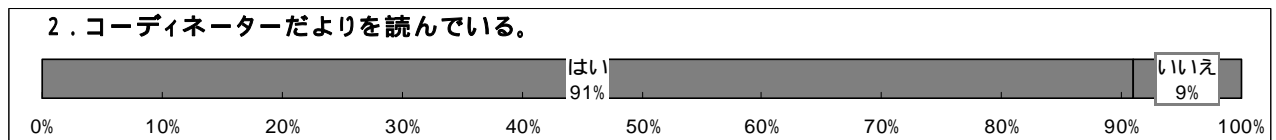
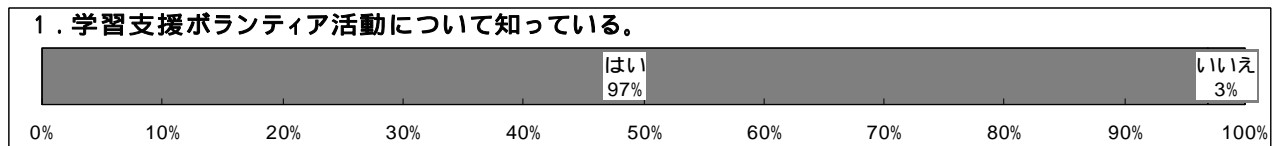
(平成 2 1 年度旭小学校支援地域本部事業報告書 ( P 3 2 ~ P 3 6 から抜粋 ) )



川探検 ( 4 年、総合的な学習の時間 )

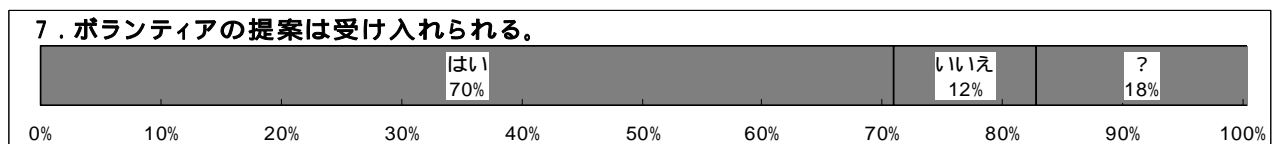
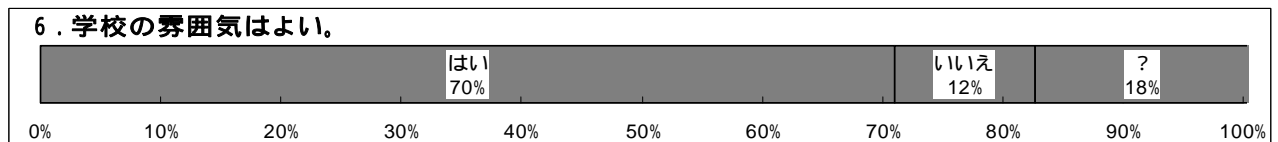
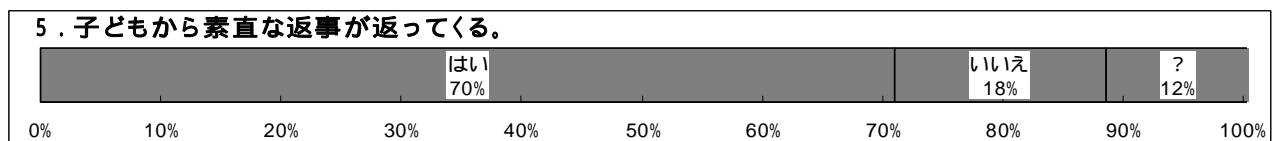
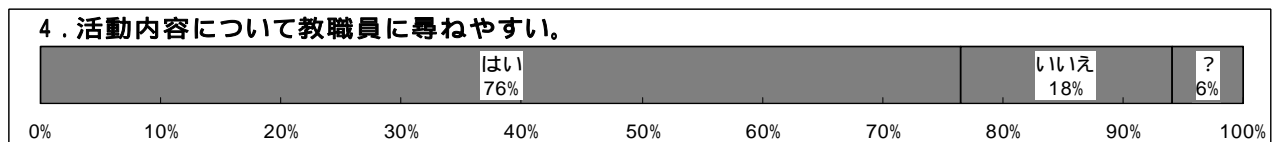
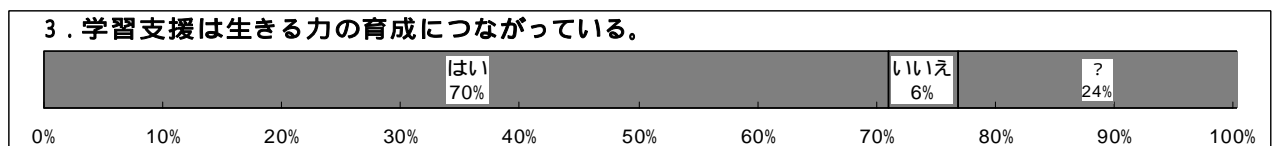
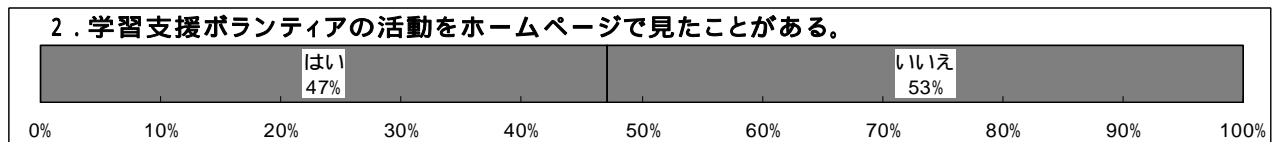
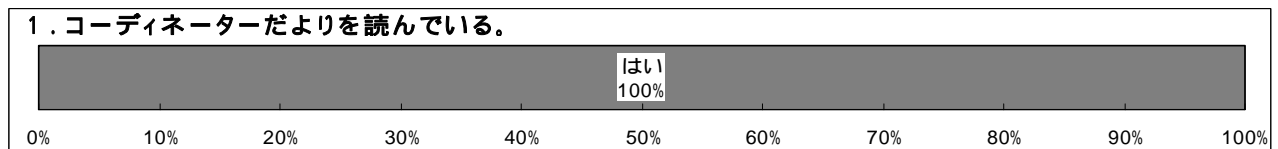
# 旭 小 学 校 支 援 地 域 本 部

1 保護者のアンケート（集計） 【66 / 93（世帯数） 回収率71.0%】



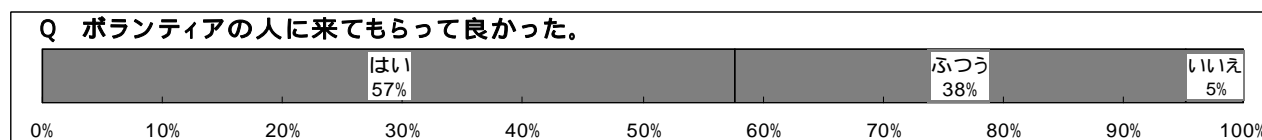
2 ボランティアのアンケート（集計）

【17 / 38 回収率44.7%】



### 3 児童アンケート（集計）

【125 / 126 回収率99.2%】



### 4 まとめ（考察）

#### （1）保護者アンケートから

本年度から発行しております「コーディネーターだより」については、多くの保護者の皆さんに読んでいただいていることがわかり大変うれしく思いました。

学校経営にそったボランティア活動を知っていただくために、一層、紙面構成などの工夫を重ねて、読み易く、分かり易い広報誌をめざします。

「学校ホームページ」については、まだまだ身近な存在でないことがわかりました。紙面での広報を心がける必要があると思います。

自由記述の「どんな子どもに育てて欲しいか」については、思いやりのある子、あいさつのできる子、元気な子、優しい子、素直な子などが上位を占めていました。

学校・家庭・地域が、一体となって地域や保護者の期待（願い）にかなった子どもの成長に努めたいと思います。

自由記述の「地域学習を進めるため体験活動」については、郷土料理、どんど、昔遊び、祭り、豆まきなどでした。

ふるさとを愛し、大切に作る気持ちを育てることは、大変重要なことと考えています。地域や保護者の人材を得ながら、より効果的な学習を進めるよう努めます。

自由記述の「現在、実施しているボランティア活動以外に、こんなことをボランティアでやってどうか」という提案については、スポーツ少年団の手伝い、プール開放の当番などがありました。

本事業の趣旨、本校が進めるボランティア活動のねらいなどについて、よりていねいな説明や広報も必要なことを感じます。

#### （2）ボランティア（本人）アンケートから

「ボランティア活動での提案は、学校に受け入れられるか」については、学校は、給食指導、清掃活動などボランティア活動でのいろいろな提案を受けて、その都度、改善に努めてきました。

まだまだ至らないことも多いと感じていますが、ボランティアと教職員の協働によって、子どもたちにとって「わかる喜びや学ぶ楽しさを感じられる」学校づくりに努めたいと考えます。

自由記述の「どんな子どもに育てて欲しいか」については、素直な子、元気な子、チャレンジする子、あいさつのできる子、夢を持っている子などが、上位を占めていました。

保護者アンケートと、概ね同じような内容でした。子どもは「地域の宝」といわれます。学校・家庭・地域が、一体となって地域や保護者の期待（願い）にかかった子どもの成長に努めたいと思います。

自由記述の「ボランティア活動をしていて困ることや子どもたちの様子を見ての課題」については、落ち着いて話を聞くことができない、集中できない、時間を守ることができない、先生は友だちではない、などがありました。

これらのことについては、本校の大きな課題として受け止めています。日々の教育実践の中で「学習規律の徹底」に努めます。

また、先生と打ち合わせができない（授業方向性がわからない）、燃料代がかかるなど運営上の課題についても指摘されています。

自由記述の「ボランティア活動をしていて楽しい（うれしい）と思うこと」については、あいさつをしてくれた時、元気な返事をしてくれた時、質問をしてくれた時、元気な子どもたちの様子を見る時、話を聞いてくれた時、笑顔で迎えてくれた時、ありがとうの言葉を言ってくれた時、などでした。

本校の学校支援地域本部は、地域・保護者等の支援・協力を得ながら、教師の指導力を支えるシステムづくりをねらいとして取り組んでいます。

ボランティア活動が、子どもとのふれあい・交流を通じて、ボランティア本人の「喜び」となり、学校運営の参画につながるような運営を心がけたいと考えています。

自由記述の「こんなことをボランティアでやってはどうか」という提案については、保護者とボランティアの集い、大掃除の支援、地産地消で野菜づくりなどがありました。これらのことは、今後、検討してみたいと考えます。

### （３） 児童アンケートから

児童アンケートでは、多くの子どもたちがボランティアの人に来てもらってよかったと答えています。今後も、子どもたちの期待に応えられるようなボランティア活動を進めたいと考えています。

## 5 次年度へ反映

### (1) 朝遊びの支援

本校は、スクールバス通学の児童が95%以上を占めています。多くの子どもたちは、朝起きてからあまり体を動かさないままスクールバスで約30分程度の時間かけて登校します。これらは、円滑な教育活動を進める上での影響があると考えています。

次年度は、毎朝20分～30分程度、教師とボランティアが関わった「朝遊びの時間」を創設し、元気あふれる学校づくりをめざします。

### (2) 昔遊び週間での支援

低学年は、以前から児童の祖父母の協力をいただいて、「昔遊び集会」を実施しています。

次年度は、これらを再編して、全児童が、業間休みや昼休みの時間に学習支援ボランティアの関わった昔遊びのできる週間を創設し、ふれあいを大切にしたい体験活動をめざします。

### (3) 学習支援年間活動計画及び2ヶ月先の活動計画

次年度は、学習支援年間活動計画と2ヶ月程度先の活動計画の作成を通じて、コーディネーターやボランティアが、見直しを持って計画的・連続的な活動が進められるようにします。

### (4) アフタースクールとサマースクール

次年度は、アフタースクールの運営を一層充実させるために、打ち合わせ会、勉強会、反省会等を定例的に持ち、見直しと改善を重ねて効果的な放課後学習支援に努めます。

サマースクールは、全学年の児童を対象に、夏季休業中に算数と国語の学習支援を実施します。

### (5) 一人一鉢菊いっぱい活動と旭小街角ギャラリー

次年度は、子どもたちが育てた菊や名人の菊を展示する菊花展の開催等の広報に努めます。

旭小街角ギャラリーは、年間を通じて地域の方々の撮った四季の風景や花、鳥などの写真パネルの展示等を通じて、子どもたちと地域の方々が「共に学び合う」旭小街角ギャラリーとして充実します。

### (6) コーディネーターだより

アンケート調査によると、多くの方々に読んでいただいています。次年度は、一層、読み易く、分かり易い広報誌をめざします。

コーディネーターだよりは、美咲町広報誌「広報みさき」の旭地域の発送便に合わせて1200世帯に配布の予定です。